

集え！根津神社！



見どころ
そびえたつ根津神社の大鳥居（写真上）

根津・千駄木下町まっぴりは、毎年十月に根津神社で開催されています。このお祭りは、今年で十五回目を迎え、地域の発展や活性化に広く貢献しています。メイン会場では、模擬店、小さな子どもから大人までが楽しめる出し物、地元の小中学生などによる楽器演奏、フリーマーケットなどの各種催し物を、サブ会場では、和太鼓などバラエティに富んだ個性あふれる出し物でにぎわっています。

どくどく行くの？

下町まっぴりでしょ！

2013
10月19日
20日

2013年はどんな年？

森鷗外生誕
150+「1」周年

森鷗外の生誕151周年。これを記念して下町まっぴりの縁日では島根県津和野町からふる里物産店が出店され、また去年は森鷗外記念館も開館した。

制作・発行
東洋大学国際地域学部
国際観光学科東海林ゼミ

下町まっぴり新聞



東洋大学

知ったか？ せったかクン！！



カルメ焼きってなあに？

答えは表面へ！！

忘れません

東北大地震



実行委員会作成・パンフレットと送料配寺+

下町哀愁下車

「前回までのあらすじ」
居眠りをして電車を乗り過ごしてしまった私は、根津に途中下車する。根津駅で降りた私は、あてもなく不忍通りを歩いていた。

◇ ◇ ◇
突然、古い建物が視界に入った。三階建ての木造建築のその建物は、どうやら日本料理店みたいだ。近くに看板があり、登録有形文化財と書かれている。明治時代からあるそれは、幾度と災難に襲われながらも必死にそこに立ち続けてきた。古い歴史と、周りが取り残された姿は、どこか哀愁を感じる。私も同じ面持ちでいるのかな、とまるで次元の違う感じ方をしていた。

再び歩き出した私は、蛇のようには長くはない行列を発見する。どうやらたいやきを売りに来ているようだ。昼飯を食べていなかった私は、その行列に並び、たいやきを二つ購入した。たいやきの甘さ控えめなあんこを頬張りながら思う。私はいつになったら根津神社につくのだろうか・・・。

つづく

文豪の町
根津・千駄木地域は、多くの文豪が住んでいた町として有名です。この町で夏目漱石や森鷗外、佐藤春夫などが数々の名作を執筆しました。

伝統の町
古い伝統が受け継がれた街でもある根津千駄木地域では、絵巻動物や植物などの姿に細工をする職人技が見られるあめ細工店や、江戸時代からの伝統を受け継いだ染物もたくさん見ることが出来ます。思わず足を止めてみたくなるものが、この町にはあふれています。

サブ会場専用シャトルバス
無料運行中！



縁日ゾーン拡大地図、無料配布中！
配布場所は鳥居近くで！

